

2018年度教育研究活動報告用紙(様式9(2018))

氏名	前田幸	職名	助教	学位	助産修士(天使大学大学院 2006年)
----	-----	----	----	----	---------------------

研究分野	研究内容のキーワード
助産学、母性看護学	助産ケア、助産師外来、バースレビュー、子育て支援、保健指導、助産師学生、分娩介助、乳がん検診

研究課題
・分娩体験におけるバースレビューの意義や役割に関して考察する ・妊娠期からの胎児へのコミュニケーションが愛着形成に与える影響について考察する ・助産師学生の分娩介助の習得過程に関して考察する ・乳がん検診・自己触診法の啓発活動を通しての学生の学びについて考察する

担当授業科目
母性看護学演習(看護学科) 母性看護学実習(看護学科) ウィメンズヘルス看護論(看護学科) 助産診断・ケア学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅵ・Ⅶ(演習)(助産学科) 助産学基礎実習(助産学科) 助産学実習Ⅰ・Ⅱ・管理(助産学科) 助産学研究演習(助産学科)

授業を行う上で工夫した事項(※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
授業科目名【母性看護学演習・実習】 演習では、実習を考慮し、看護技術習得が行えるように関わっていった。実習に関しては、看護過程の展開を通し、学生個々に合わせたフィードバックを行うことで実習目標の到達できるように関わっていった。またケアの実施の際には、根拠を考慮して実施していくことの必要性を伝えていった。実習を通して周産期におけるケアや退院した後の継続ケアを理解できるような支援を行った。
授業科目名【助産診断・ケア学】 助産診断・ケア学では、各領域の基礎的知識及び助産技術習得ができるように関わるとともに、より実習をイメージした演習ができるように各ガイドラインなどを意識しながら、工夫していった。特に助産診断・ケア学Ⅱ(分娩期)では、状況を設定した演習を多く取り入れ、学生自身に自ら考え行動できるような工夫をし、支援を行った。
授業科目名【助産学基礎実習】 実習目標の到達に沿って、基本的な助産技術の習得および助産過程の展開ができるように学生の支援を行っていった。特に基礎実習では、対象者を捉えることからはじめ、母子の安全を考え、また科学的根拠に基づいたケアを学生が提供できるように関わった。学生個々の価値観等を考えながら、臨床指導者や他の教員と意見交換し、支援するとともに、学生の実習に対してフィードバックを行った。
授業科目名【助産学実習Ⅰ・Ⅱ・管理】 実習目標の到達に沿って、助産技術の習得および助産過程の展開ができるように、学生の支援を行っていった。特に助産学実習Ⅰ・Ⅱでは学生が対象者を多角的に捉え、気づき、対象者に寄り添ったケアを提供できるように関わった。また倫理的視点を常に持ち、ケアを行えるよう関わった。臨床指導者や他の教員と連携をとり、意見交換し、支援するとともに、学生の実習に対してフィードバックを行った。

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等（任期）	加入時期
日本看護協会 日本助産学会 母性衛生学会		2003 年 4 月～現在に至る 2017 年 3 月～現在に至る 2018 年 4 月～現在に至る

2 0 1 8 年 度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文) 1. 乳がん検診・自己触診 法の啓発活動を通して の学生の学び	共著	2019年3月	第 49 回日本看護学会 論文集ヘルスプロモ ーション	① 子育て世代の母親に対して乳 がん検診・自己触診法の啓発 活動を通して看護学生の学び を明らかにした ② 共著者名 吉原悦子、古賀玉緒、穴田和 子、山田恵、前田幸、井手裕 子、笹月桃子、久保田千景 ③ P99
(翻訳)				
(学会発表) 1.乳がん検診・自己触診 法の啓発活動を通して の学生の学び	共著	2018年9月	第 49 回日本看護学会 ヘルスプロモーショ ン学術集会 (於 岡山コンベン ションセンター)	④ 子育て世代の母親に対して乳 がん検診・自己触診法の啓発 活動を通して看護学生の学び を明らかにした ⑤ 共同発表者 吉原悦子、古賀玉緒、穴田和 子、山田恵、前田幸、井手裕 子、久保田千景、笹月桃子 ⑥ 第49回 日本看護学会ーヘル スプロモーショーンー学術集会 抄録集 (P106)
				教育研究業績 総数 (2019. 3. 31現在) 著書 0 学術論文 1 (内訳 単0 共1) 翻訳 0 学会発表 1 (内訳 単0 共1)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
（１） 共 同 研 究			
研 究 題 目	交付団体	研 究 者 ○代表者（ ）内は学外者	交付決定額 (単位：円)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
（２） 個 人 研 究			
研 究 題 目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備 考

社 会 に お け る 活 動 等		
団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等	任 期 間 等

学 内 に お け る 活 動 等 （役職、委員、学生支援など）
周望学舎 シニアサマーカレッジ 2018 年 担当教員の一員として参加 研究推進委員会（看護学科/助産別科） 助産師国家試験に関する補佐 クラス担任/アドバイザー